

	看取りの目指す姿
病院部会	
医師会部会	市民が自らの望む場所で最後を迎えたいという選択肢を提供できる体制を整える。
歯科医師会部会	
薬剤師会	
訪問看護ネットワーク	本人の望む最後がむかえられるように、本人と家族を地域包括ケアシステムで支える。
リハビリネット部会	家族・専門職協働で、本人の希望を叶える看取り
ケアマネット部会	多職種の連携で切れ目のない看取りができる
小規模多機能部会	<p>在宅で安心して看取りができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族まかせ、事業所まかせでなく各々が役割を持って、助け合っ一緒に看取りを行えるとよい → やはりそこには連携が大切で、連携体制の強化や間を取り持つ機関の創設が必要と思う</li> <li>・本人・家族がしっかりと判断できる知識が持てたり、支援できる仕組みがある</li> </ul>
デイネット部会	<p>本人が望む在宅生活の実現のための様々な整備をする</p> <p>自分の最期を気軽に話せる・相談できる</p> <p>在宅での様々なサービスを整備する</p> <p>(「看取り」を前面に出してしまうと、専門職側はある程度理解できるが、本人・家族などの市民の方々にとっては、少し重いテーマとなってしまうような気がします。人生の最終段階の生活(時間)をどう過ごすのか?緊急時にどう対応して欲しいのか?をどうやって支えていくかが重要になると思います)</p>
ヘルパーネット部会	<p>医療関係者やご家族・患者様のサポートを今後も目指して支援していく。</p> <p>引き続き患者様の意思に沿った支援を続けていけるよう目指す。</p>
施設部会	<p>どこに住んでいても、切れ目のないサービスを受けることが出来る体制を目指す。</p> <p>家族間で利用者の最後の迎え方について、情報が共有できケアプランにも反映されていること</p> <p>本人の病状が進行し意思確認が困難な状態となった場合でも、多職種が連携して『その人らしさ』が尊重できるような支援や体制が構築されて行けると良い</p>
グループホーム部会	誰もが一人気付かれずに、亡くなられることのないよう、地域や社会で高齢者を見守る社会を目指す
住まい部会	
地域支援部会	
保健福祉部会	元気な頃から看取りについて考える機会を持ち、本人の意向や取り巻く状況(独居等)に合わせて本人を中心として、医療介護の専門職が連携を図り、本人や家族の不安、迷いに対してもフォローをしながら最後まで自分らしく生きる意思を尊重した自己決定ができるようターミナル期を支える体制のある安城市。